

領 収 証

№ 037059

小森 隆一 様

領収金額 ¥ 73,700-

上記の通り領収致しました



令和6年8月1日



やじま印刷株式会社

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105

TEL (0283) 22-6428(代)

FAX (0283) 24-7247

小森りゅういち通信第5号 印刷代と17

領 収 書

令和 6 年 12 月 17 日

小森 隆一 議員金額
(消費税込)

1,512円

令和6年度佐野市議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(令和6年11月23日開催)

佐野市議会報告会運営委員会委員長 慶 野 常 夫

領 収 証

№ 037408

小 村 隆 一 様

領収金額 ¥ 74800

上記の通り領収致しました

R7 年 1 月 21 日



取扱者



やじま印刷株式会社

〒327-0003 栃木県佐野市大橋町1105

TEL (0283) 22-6428(代)

FAX (0283) 24-7247

小村りゅう通信 第6号 印刷代 62



小森りゅういち通信

未来を拓く安心安全な佐野市づくりに挑戦！

第5号

2024年 夏号

発行者 小森 隆一
住 所 佐野市大橋町1021-33
TEL/FAX 0283-22-6172

<ごあいさつ>

皆さまにおかれましては、くれぐれもお身体をご自愛ください。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

佐野市議会公明党議員会 小森 隆一

小森隆一 検索



ホームページ
公開中

議 会 報 告

<令和5年9月定例議会の一般質問の要旨>

質問1 空き家対策について



質問) 空き家の利活用の促進を図る上で、民間事業者等との連携が特に重要であると考えますが、現状と今後の取り組みは？また、今後の空き家対策の対応については？

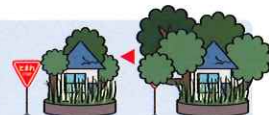
答弁 現状は、本市の空き家バンクの運用では、宅地建物取引業協会との協定の下、不動産会社に協力を得ながら売買、賃貸借等の媒介をいただいている。また、相続や土地、家屋の権利関係等の問題を解決するため、司法書士会と連携し、相談会などを実施している。今後の空き家対策については、これまで同様、空き家の適切な管理が所有者の責務であることを丁寧に説明し、特に特定空き家等については、円滑に除去を行えるよう助言、指導等を行っていきたい。利活用可能な空き家については、所有者等のニーズを把握し、先進自治体の取り組みなどを調査し、今後の国の動向を注視しながら適切な対応に努めたい。

要望 市民の方より、空き家問題をどこに相談したらよいか分からないので、【空き家対策室】の名称の復活、そしてマンパワー増員の声があるので、前向きにご検討いただきたい。

質問2 本市有地や道路等にはみ出している木等の伐採について

質問) 民法 233 条、相隣関係の改正により、道路にはみ出している木等は、自治体での伐採が可能と考えるが？

答弁 令和5年4月、民法第233条の改正に伴い、隣地からの木の枝等を越境された土地の所有者は、その木の枝を切ることができる事となった。但し、あくまでも一定の要件を満たす場合である。道路管理者としては、道路の管理上、必要最小限の範囲で対応できるようになったと解釈している。従って今後についても従来どおりの指導を行いつつ、具体的な対応は、近隣市町の動向を見ながら検討したい。



要望 市民は、一步前進するのかなと期待している。できるだけ早くに具体的な形で施行をお願いしたい。

質問3 带状疱疹について

質問) 带状疱疹ワクチン接種の公費助成については？



答弁 带状疱疹の予防には、ワクチンの接種が有効である。健康づくりの一環として、带状疱疹予防接種の助成について、積極的に検討してまいりたい。

要望
実現

令和6年4月1日より、带状疱疹
予防接種費用の一部助成が開始

2050年までに二酸化炭素排出量を
実質ゼロにする脱炭素社会の実現

質問1 「ゼロカーボンシティさの」 実現に向けた取り組みにつ いて

質問) 二酸化炭素削減への市民参加を促し、削減対策を検討する上で、「ミニ・パブリックスな市民会議」(参加したい方が参加するのではなく、無作為に抽出して選ばれた市民で話し合う場)も、様々な貴重な意見が出るのでは？

答弁 ミニ・パブリックスは、主に欧州を中心に活用が拡大し、政策や法律案等を決定する際の有効な手段である。本市も、ゼロカーボンシティさの実現に向けた各種取り組みの啓発や浸透を図る手法の一つとして、ミニ・パブリックスの活用も研究したい。

質問2 高齢者の活躍支援 について

質問) 高齢者と地域社会のニーズを掌握し、マッチングさせるために、「すぐ相談できる『高齢者活躍地域相談センター』、高齢者を受け入れる各種団体と同センターが定期的に連携する『高齢者活躍推進連絡協議会』(共に仮称)」の設置は？



答弁 シニア世代が利活用可能なサービスや事業等の情報を発信するため、庁内外の関係部署と連携して、情報を収集、集約し、情報伝達手段、情報格差の解消は、関係部署が実施しているスマホ教室等と連携していきたい。また、町会や生活支援コーディネーター、ボランティア団体、シニアクラブ連合会、シルバー人材センター等の団体間や地域で連携して、シニア世代のニーズに合った活躍の場へ手引する仕組みについても検討したい。

質問3 ウェルビーイングな子ども 政策の取り組みについて

質問) 「新・放課後子ども総合プラン」に従い、市、学校並びに地域等が密接に連携して事業が実施されているが、効果と課題、今後の取り組みについては？

答弁 本市における「新・放課後子どもプラン」の推進方策を作成し、庁内各関係課が連携し推進している。



効果は、放課後子供教室と児童クラブが連携することで、子供たちの放課後生活が豊かになるとともに、多くの大人たちで子供たちを見守ることができるため、安全安心な居場所を確保できている。課題は、放課後子供教室関係者と放課後児童クラブ職員の情報共有の場が少ない学校区があり、今後は、放課後子供教室関係者と放課後児童クラブ職員の顔合わせの場を設け、情報共有を図りたい。

質問4 佐野市奨学金 返済助成事業 について

質問) 奨学金返還の若者の負担を軽減し、若者の地方定住を促す点から、奨学金返還支援制度、全額肩代わりの導入については？



答弁 奨学金返還支援制度は、若者の地方企業への就職や地方定着の促進が目的であり、一定期間地域内に居住することや就業することなどが要件である。全額肩代わりの制度は、転出した場合、返還額が大きくなるため、新たな延滞者が発生するなど課題があり、今後他の実施自治体の事例を参考に研究してまいりたい。

要望 奨学金制度の更なる拡充をお願いしたい。



小森りゅういち通信

未来を拓く安心安全な佐野市づくりに挑戦！

第6号

2025年 新春号

発行者 小森 隆一
住 所 佐野市大橋町1021-33
TEL/FAX 0283-22-6172

<ごあいさつ>

皆さまにおかれましては、くれぐれもお身体をご自愛ください。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

佐野市議会公明党議員会 小森 隆一

小森隆一

検索



ホームページ
公開中

議 会 報 告

<令和6年2月定例議会の一般質問の要旨>

質問1 地方創生による活性化に向けた取り組みについて

質問) 民間活力を利用した企業誘致に向けては？

答弁 企業立地の受皿となる産業団地の整備を推進すると共に、地域未来投資促進法に基づく重点促進区域の設定等、民間開発が可能な用地の確保を継続的に実施したい。また、中核企業の本社機能移転や大手企業の誘致を図るため、今後とも栃木県東京事務所や産業政策課と連携した企業誘致に取り組むと共に、金融機関や大手ゼネコンなどの業者へ情報の発信を積極的に行いたい。利点は、農振農用地区域の除外や開発の手続では一定の配慮が受けられ、期間の短縮が可能となる。用地買収でも、自由な民間取引の下に相手との交渉が可能のため、柔軟に対応できる。整備工事でも、単年度会計によらない発注方式などが可能であり、期間と費用の縮減が図れる。

質問2 支え合い助け合う地域社会の構築について

質問) メンタルヘルスの不調を持っている人を地域や職場で支える心のサポーターの養成について、講習会などを積極的に展開し、適切な支援が届けられる体制を整備すべきだが？

答弁 心のサポーターを養成することは、鬱病など精神疾患への正しい知識と理解に基づき、心に不調のある方やその家族に対し、できる範囲で手助けができるようにするため、地域における普及啓発並びに精神疾患の予防

や早期発見につながり、地域で安心して暮らせる環境整備に繋がる。県は推進事業として、令和6年度からサポーターの養成に取り組む予定。今後県の動向を注視しながら、サポーター養成のための体制づくりを検討したい。

質問3 子どもの遊び場の設置について

質問) 子供の居場所として、新子供の屋内遊び場の設置を提案するが？



答弁 本市には、平成12年の開館から皆様に親しまれている「こどもの国」があり、現在こどもの国運営プロジェクト会議を設置し、今後の運営の在り方や課題解決に向けた具体的な取り組みについて検討している。今後、この取り組みをこどもの国の運営に反映し、さらなる充実を図り、今まで以上に愛されるこどもの国を目指すとともに、安全安心に過ごせる子供の屋内遊び場として引き続き調査研究してまいりたい。

要望 様々な遊びや体験を通して、楽しみながら学びを見つけられ、安心な居場所となる施設検討を望む。

<令和6年6月定例議会の一般質問の要旨>

質問1 こども政策の取り組みについて

質問) 「こども誰でも通園制度」について、本市はいつからスタートする予定で、調査準備の状況は？

答弁 本市は、令和8年度の本格的な制度開始を見据え、令和6年度は近隣市の試行

的事業の実施状況を参考にしながら、保育士の確保の問題や実施の方法などを踏まえ、令和7年度から施行的事業として実施する方向で検討する。

質問2 高齢者における健康寿命の延伸を目指した肺炎予防について

質問) RS ウイルス感染症は肺炎を引き起こすとして、国で重点感染症として位置づけており、RS ウイルス感染症予防ワクチンは、効果が認められるワクチンである。高齢者が接種しやすいように、ワクチン接種費用の公費助成を提案するが？



答弁 現状では、RS ウイルスワクチンの接種に対し、公費で助成する予定はないが、現在、国のワクチン分科会などの資料を調査している。今後も引き続き国の動向や他市の状況等の把握に努めると共に、適切な情報提供についても研究したい。

質問3 空き家対策について



質問) 国の空家法の改正や市で予定の空家等実態調査事業等を踏まえて、今後の空き家対策の取り組みは？

答弁 空き家の現状や課題を把握し、法改正により拡充された空き家対策の取り組みを令和7年度見直し予定の空家等対策計画に反映したい。また、引き続き空き家の適切な管理が所有者の責務であることを丁寧に説明し、特に特定空き家等については、円滑に除却を行えるよう、助言、指導等を行いたい。利活用が可能な空き家については、積極的に空き家バンクを活用いただき、本市への住み替えや移住を考えている方へ紹介できるよう、協定を締結している各団体等と連携を図りたい。

＜令和6年9月定例議会の一般質問の要旨＞

質問1 大規模災害対応について

質問) 携帯トイレ等の今後の備蓄のスケジュールは？

答弁 現時点では6か年の計画を設けて、順次増やす。

質問) トイレトレーラーの整備は？



答弁 大規模災害が発生した際は、トイレトレーラーは非常に有効である。そのため令和6年3月に佐野インランドポートの指定管理者である吉田運送株式会社様と「佐野インランドポートを活用した支援物資の受入れ及びコンテナ型トイレ等の提供に関する協定」を締結し、有事の際はコンテナ型トイレの提供をいただく。また、トイレトレーラー等の活用が見込まれる市有施設等への設置については、国際防災拠点の整備方針を基に検討を進める。

質問2 認知症の人に寄り添った共生社会実現の推進

質問) 認知症の人の行動、心理症状、BPSDの発生を緩和し、認知症の人と家族等の尊厳ある暮らしを守るため、ユマニチュードの普及を提案するが？



答弁 ユマニチュードの考え方は、認知症の方の尊厳を大切にし、最後までその人らしく過ごせることを目指すなど、認知症の理解を深める上で大切な要素が多く含まれているため、今後認知症サポーター養成講座を開催する際には、その内容を取り入れたい。

質問3 学校防火設備の安全対策について



質問) 建築基準法施行令の改正により、新築改修工事の防火シャッターには安全装置の取付けが義務づけられた。小中学校の既存のシャッターに取付け可能、停電時も安心な電気不使用、シンプルな構造で経済的かつ丈夫な可動座板式の安全装置の設置を提案するが？

答弁 可動座板式の安全装置は、既存の防火・防煙シャッターの一部を交換するもの。防火・防煙シャッターの挟まれ防止に一定の効果が期待されるが、今後小中学校の統廃合が進められるため、費用対効果を勘案しつつ、計画的な設置を検討したい。